



▲今年のポスターを手を左から長見さん・刈谷さん・川村さん



のいち 佐古祭り

実行委員会

やりゆらでえ



◆頑張っている人物やグループを
広報編集委員が紹介します。担当/久保さきみ

毎年7月に佐古小学校グラウンドで開催される「のいち佐古祭り」は今年で18回目を迎えます。子どもたちの思い出づくりと、保護者や地域の人々のつながりを、より深く強いものにし、手づくりの夏祭りを盛り上げている同実行委員会を紹介します。

地域に祭りを!

佐古地区に新しい団地が次々と造成され、転入して来られる家庭が多くなった平成4年、佐古小学校のPTA役員の方々が中心となり地域をつなぐ「夏祭り」を計画したことから始まりました。保育所のPTAや、婦人会、高齢者クラブなどの各団体に呼びかけ、約30人ほどで、実行委員会を結成。

雨が降ろうが

「テーマは『昔からあるよいうな、200年も300年も続く祭り』手づくりのため、最初は音響や照明も乏しく、資金集めにも苦労しました」と話されたのは同会長の刈谷義光さん。どしゃ降りの中開催した年もあり、ぬかるみに足を取られ、ずぶ濡れになりながらも次から次へと訪れるお客さんとスタッフを見てゲストの『しばてん』さんは「やるもんもやるもんやけん、来る

もんも来るもんじゃ!」と苦笑。「その時から、佐古祭りは雨天決行と決めました!」と笑う事務局長の川村信夫さん。

ニラを飛ばそう

そして祭りのメインイベントに地元特産のニラを使った企画を考え、第3回から「ニラ飛ばし」が始まりました。子どもから高齢者まで誰でも挑戦できるよう、ルールはいたって簡単。投げるだけ!しかし「なんぼ言うたち食べる物を投げるとは!!」とニラ農家からは大反対されたとか。終了後、投げたニラは、しっかり食すことで問題はクリアされました。

ギネスに挑戦

さらに盛り上げるため平成10年「ギネスブックに載せよう」と英国のギネス・ワールド・レコード社と交渉を重ね12年、それまで最高記録の宮本純典さんの11・11mが



ギネス記録に認定されました。この時はまさに「お祭り騒ぎ」だったそうです。その後、原真さんが15・10mで記録を更新。しかし、申請にはすべて英語でのやり取りが必要で手続きが難航し不受理になっているものの、現在の世界記録です。

長く続けていきたい

祭りの今後を尋ねると事務局の長見勝次郎さんは「マシナリ化を目指す」と即答。毎年グラウンドに広がる輪は、子どもたちを中心に地域をつなぐ輪になっていて、長く長く続けていくためには、マシナリ化は決して悪いことではないようです。今年も世界記録を目指して、ニラが飛ばす祭りにぜひ参加してみませんか。

▼日時 7月18日(日)

14時~21時

▼問い合わせ

佐古祭り実行委員会(川村)
090-171436002

編集後記

▼先月号で紹介させていただいた「注文の多い料理店」発行人のお名前が近森善一氏です。大変失礼しました。
▼テナガザルの雄叫び(うー)に迎えられた「のいち動物公園」。十数年振りの園内には赤く色付いた食べごろのヤマモモ、仲良く遊ぶ双子のチンパンジーに幼かった我が子の姿も。(井)
▼過去の妻害から学ぶ我が家の災害対策は、「家事を平等に」がモットーです。安心・安全で幸せな生活を守るためには、決められたルールを忘れてはいけません。(m)
▼野市町の「あじさい街道」は市の観光名所の一つとなっていています。また春には桜が咲き誇り、夏にはホテルが飛び交う光景が心を和ませてくれます。地域住民の方々が手を入れるからこそ美しい!いつまでも残したい風景です。(S)
▼のいち動物公園にハシビロコウがやってくるその日が楽しみでたまりません。あの素敵なお顔を写しに通います。あちこちの夏祭りも楽しみでたまりません。りんごあめと綿菓子とイカ焼きが好きです。花より団子?(み)
《広報へのメール》
koho@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp